

第 136 回 草加市のおせん像など

筆者：林 久治（記載：2020 年 10 月 9 日）

（1）前書き

私（筆者の林）は [Random Walks（乱歩）](#) という題名で [偏屈老人（林久治）の気侘な紀行文](#) のサイトを始めている。私の紀行文では、通常の紀行文にはない、斜め目線からのご紹介を書くことに拘りたいと思います。通常の紀行文に関しては、既に優れたサイトが沢山ありますので、それらをも引用しつつ、ユニークなご紹介を記載することに心掛ける所存です。

一方、私は日本の銅像探偵団 ([1\) のサイト/](#)) の銅像探索に参加している。私は珍しい銅像を探して、探偵団の団長さんに「ギャフン！」と仰っていただけることを目標としている。ここで「珍しい」とは、「①見つけ難い場所に隠れている有名人の銅像。②市井で頑張って人生を過ごしたが、有名人ではない人物の銅像」と言う意味である。私は自宅が東京にあり、孫達が大阪にいますので、主として東京近郊と近畿地方で銅像探索を行っている。最近、私はネット記事を丹念に調査し、そのような「スクープ銅像」の候補を多数見つけている。

私は武漢肺炎の緊急事態宣言が出され外出を自粛していたが、緊急事態宣言が解除されたので、銅像探索を再開している。しかし、大阪に行くことはまだ自粛しているので、東京で銅像探索を行いその探索記を書いた ([123 回の記事/f](#)、[124 回の記事/f](#)、[125 回の記事/f](#)、[126 回の記事/f](#)、[127 回の記事/f](#)、[128 回の記事/f](#)、[129 回の記事/f](#)、[130 回の記事/f](#)、[131 回の記事/f](#)、[132 回の記事/f](#)、[133 回の記事/f](#)、及び[134 回の記事/f](#))。

私は 9 月 29 日にさいたま市のダミアン神父像と河野秀像の探索し、その探索記を [前回の記事/f](#) に書いた。その際、浦和駅前にある浦和専門学校の古藤早代子像をも探索した (図 1 を参照)。しかし、そこにあったはずの本校の校舎は全て撤去され、新校舎が建設中で、校舎前にあったはずの古藤像は見当たらなかった。帰宅して、同校の他の校舎を調べてみると、本校と少し離れた場所に東校があることを見つけた。古藤像はそこに移転されている可能性があるため、10 月 3 日に浦和駅前へ再度行き、古藤像を探索した。そのついでに、草加駅前にも行って、おせんさん像なども探索した。本稿はそれらの探索記である。なお、本稿においては、資料の記述を **緑文字** で、私（林）の意見や説明を **青文字** で記載する。



図 1. 浦和駅東口の周辺地図

本図は、[2\) のサイト/](#)より借用。①：浦和専門学校本校舎、②浦和専門学校 東校舎。

(2) 浦和専門学校東校の古藤早代子像

図1には、浦和駅東口の周辺地図を示す。本図の①地点に古藤学園浦和専門学校本校舎（さいたま市浦和区東高砂町30-8）があり、②地点に浦和専門学校 東校舎（さいたま市浦和区本太1-8-16）がある。私は9月29日に、浦和駅東口から約10分歩いて、本校舎に到着した。ところが、図2上に示すように、本校舎は新築中で、古藤像は見当たらなかった。10月3日には、浦和駅東口から約15分歩いて、東校舎に到着した。



図2. 上：新築中の浦和専門学校本校舎、下：浦和専門学校 東校舎の玄関前。

浦和専門学校 東校舎の玄関前の写真を図2下に示す。私の期待通りに、玄関前には老婆の胸像が設置されていたので、大きな満足感に浸ることができた。本像の写真を図3に示す。本像の台座正面には、次ページの図4左に示すような銘板が貼られており、それには「創立者 古藤早代子先生之像」と書かれていた。本像の裏面には、図4右に示すような銘文が彫られていた。それには「創立五十周年記念 創立者 古藤早代子先生 平成五年三月二十七日 学校法人古藤学園」と書かれていた。(なお、平成5年は1993年である。)



図3. 古藤早代子先生之像



図4. 左：台座正面の銘板、右：本像裏面の銘文

本像には、台座正面の銘板と本像裏面の銘文しか記載されていなかったため、古藤先生の経歴がさっぱり分からない。そこで、学校法人古藤学園のHP ([3\)のサイト](#)) を調べてみたが、古藤先生の経歴は記載されていなかった。その代わりに、本学の沿革については、現理事長の荒川 剛二先生の挨拶文が参考になるので、以下に記載する。

学校法人古藤学園理事長の挨拶文

古藤学園は創立八十周年の古希祝いを迎えました。皆様への深い感謝と大きな感慨を新たにしております。現在、浦和校および姉妹校であるCAD製図専門学校を合わせグループ全体で1千名を超える学生が情報、OA、建築、医療技術を学んでおります。古藤学園はこれからも「誠実 協調 雄飛」の校訓を一人一人が実践する、明るい活気に満ちた学園であり続けます。

学園創設者の古藤早代子が浦和で「古藤洋裁研究所」を設立したのは、戦争の嵐が吹き荒れ始める昭和16年(1941年)のことです。日本女性の未来の幸福を見据え、「洋裁研究」という当時は敵性視されかねない校名をつけて荒海に船出した創設者の明るい希望と強い情熱には、今も襟を正され、学校経営の真理を教えられる思いが致します。

昭和35年には、第2次高度成長期の到来を見越し、現在の地に校舎を移して英会話と進学のための学校を併設しました。48年に校舎を新築し、徐々に商業分野や新しいOA分野の教育体制を整えていきます。61年に「浦和スクールオブビジネス」、63年に「浦和

情報専門学校」と改名発展を遂げ、高等専修課程も設置して、「花嫁からビジネスマンまで」を育成する学校となりました。

浦和校は平成13年より「浦和専門学校」となって医療専門課程の鍼灸科、15年より視能訓練士科を開設するに至りました。大きな成長が期待されるホリスティックな東洋医学と視能の分野を志す人々を育て、高い国家試験合格率と就職率を誇っております。

地球規模でグローバル化が進む令和の時代を見据えた今、浦和校は鍼灸科、視能科、情報IT科、情報BZ科、ライフデザイン科、ライフワーク科を備え、洋裁、家政から情報、OA、建築、医療の学校へと時代の希望をとらえて発展し、「誠実 協調 雄飛」の校訓を一人一人が実践する、明るい活気に満ちた学園であり続けます。

以上の資料などにより、古藤像の概要は次の通りである。

古藤早代子先生之像

場所：さいたま市浦和区本太1丁目8-16 浦和専門学校 東校舎玄関前

建立時期：1993年3月27日 創立五十周年記念、制作者：不明

設置経緯：古藤先生の生年没年は不明。1941年、先生は古藤洋裁研究所（現・浦和専門学校）を創立。

(3) 草加駅東口のおせんさん像とアコちゃん像

図5に東武伊勢崎線（東武スカイツリーライン）草加駅東口の周辺地図を示す。



図5. 東武鉄道草加駅東口の周辺地図 本図は、[4\) のサイト/3](#)より借用。①：おせんさん像、②：アコちゃん像、③芭蕉像。

草加の名所・名物といえば、日光街道と草加せんべいが双璧である。前者を代表するのが芭蕉と曾良の銅像である。これらは、[勿論1\)のサイト/](#)に収録されている。一方、後者を代表するのが「おせんさん」と「アコちゃん」の銅像である。これらは、[1\)のサイト/](#)には何故か収録されていない。そこで、今回は後者の銅像を探索した次第である。これらの銅像は、草加駅東口の再開発事業の一環として設置された。先ず、この再開発事業について調べてみた。

ウィキペディア（アコス）には、次のような説明がある。

アコス（AKOS）は、埼玉県草加市の東武伊勢崎線草加駅東口再開発事業により1992年（平成4年）2月に完成した再開発ビル群の名称である。この名称は「Akro of Soka」（草加の核）の頭文字に由来する。（したがって“SOKA”を逆読みしたものであるという由来は公式ではない。）

また、草加市のHP（[5\)のサイト/1](#)）には、次のような説明がある。

アコスは平成4年に完成した草加駅東口の再開発地域の愛称です。アコスビルの前の広場には、山の形をしたモニュメント「草加石清水」やせんべいを焼く「おせんさん」、せんべいを食べる少女「アコちゃん」のブロンズ像があります。

私は浦和学園の古藤像を探索した後、バスで南浦和駅に行き（東浦和駅行きのバスに乗った方がよかったようだ）、そこから武蔵野線と伊勢崎線を乗り継いで、草加駅に行ったが、時間はあまりかからなかった。草加駅東口の再開発で造成された駅前広場（アコス広場）は立派であった。「おせんさん」の像は、[図5の①地点](#)に設置されていた。その写真を[図6](#)に示す。



図6. 草加駅東口のアコス広場に設置された「おせんさん」の像



図7. 「おせんさん」の像の台座に貼付された銘文

図7には、「おせんさん」の像の台座に貼付された銘文を示す。それには、次のように書かれていた。

おせんさん

制作 麦倉 忠彦

寄贈 第24期草加ライオンズクラブ

設置 草加市

平成4年2月

草加市のHP ([6](#))の[サイト/1](#))には、「おせんさん」の説明が次のように書かれていた。

「草加せんべい」のルーツについては諸説ありますが、最も親しまれているのは「おせんさん」のエピソードです。草加が日光街道の宿場町として栄えた頃、おせんさんという女性が街道で旅人相手の茶屋で団子を売っていましたが、この団子はたまに売れ残ってしまうこともありました。団子は日持ちがしません。おせんさんはこの団子を捨ててしまうのはもったいないと悩んでいました。ある日茶屋の前を通りかかったお侍さんに「団子を平につぶして天日で乾かし、焼き餅として売る」というアイデアをもらいました。おせんさんが早速焼き餅を作って売り出したところ、たちまち評判となりその焼き餅は街道の名物になったという話が語り継がれています。

私は、「おせんさん」の像を探索した後、「アコちゃん」の像を探した。それは、「おせんさん」の像の反対側（図5の②地点）にあった。不運なことに、「アコちゃん」の横の席を変なオジサンが占拠していた。彼は「アコちゃん」の横に密着して座り、彼女の手にはビール缶を持たせ、自転車を彼女の背後に駐輪させていた。私は「これはヤバイ」と思い、他の銅像を探索して約30分後にこの場所に帰って来た。ところが、そのオジサンはまだアコちゃんに纏わりついていて、席を譲ってく

れなかった。何とかビール缶だけは取ってもらい、横から撮影せざるを得なかった。その写真を図8上に示す。

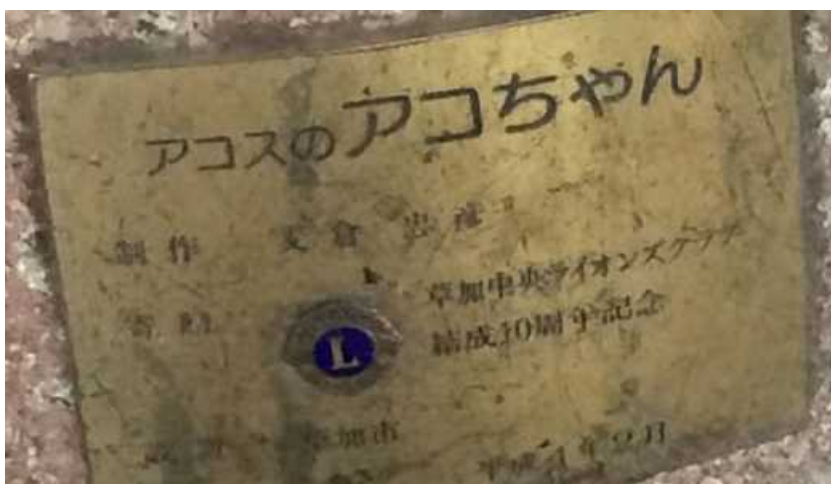


図8. 上：アコスのアコちゃんの像、下：本像の銘板 [7\) のサイト/](#)より借用。

本像の銘板は、このオジサン（図8上で、アコちゃんの横に写っている人物）の体が邪魔になって撮影出来なかった。その代わりに、ネット記事（[7\)のサイト/](#)）にあった写真を借用して図8下に示す。それには、次のように書かれている。

アコスのアコちゃん

制作 麦倉 忠彦

寄贈 草加中央ライオンズクラブ 結成10周年記念

設置 草加市

平成4年2月

なお、ウィキペディアによれば、銅像作家の麦倉忠彦の経歴は次の通りである。

麦倉 忠彦（むぎくら ただひこ、1935年 - ）は、埼玉県草加市出身。1954年埼玉県立春日部高等学校卒業。1959年東京芸術大学芸術学部彫刻科卒業。1961年東京芸術大学研究科彫刻専攻修了。同大学研究室副手。1963年日本美術家連盟会員に推挙。アメリカ合衆国サウスダコタ州K・ジョーロコフスキー彫刻研究所に留学。1968年新制作協会会員に推挙。1997年新宿パークタワー・ギャラリー1にて東京ガス都市開発主催による記念個展を開催。1999年新制作協会委員長。2000年草加市文化会館にて草加市文化賞受賞記念展開催。その後、埼玉県美術家協会運営審査員を歴任。現在、九州産業大学大学院教授、共立女子大学講師。

以上の資料より、おせんさんの像とアコちゃん像の概要は次の通りである。

おせんさんの像

場所：草加市草加駅前東口アコス広場

建立時期：1992年2月（寄贈：草加ライオンズクラブ）

制作者：麦倉 忠彦（1935 - ）は埼玉県草加市出身の彫刻家

設置経緯：「おせんさん」は、江戸時代に草加せんべいを始めたと言われる伝説上の人物。その伝説は次の通り。「草加が日光街道の宿場町として栄えた頃、おせんさんという女性が街道で旅人相手の茶屋で団子を売っていましたが、この団子はたまに売れ残ってしまうこともありました。団子は日持ちがしません。おせんさんはこの団子を捨ててしまうのはもったいないと悩んでいました。ある日茶屋の前を通りかかったお侍さんに『団子を平につぶして天日で乾かし、焼き餅として売る』というアイデアをもらいました。おせんさんが早速焼き餅を作って売り出したところ、たちまち評判となりその焼き餅は街道の名物になった。」

アコちゃんの像

場所：草加市草加駅前東口アコス広場

建立時期：1992年2月（寄贈：草加中央ライオンズクラブ）

制作者：麦倉 忠彦（1935 - ）は埼玉県草加市出身の彫刻家

設置経緯：「アコちゃん」はアコス広場のマスコットガールで草加せんべいを食べている。アコス（AKOS）は、埼玉県草加市の東武伊勢崎線草加駅東口再開発事業により1992年（平成4年）2月に完成した再開発ビル群の名称である。この名称は「Akro of Soka」（草加の核）の頭文字に由来する。（したがって“SOKA”を逆読みしたものであるという由来は公式ではない。）

(4) 草加駅東口の芭蕉像

図9上に現在の草加市中央部の地図を、図9下に1906年測量の地図を示す。両方の地図を比較すると、現在の南北に走る幹線道路（図9上の黄色の道路）は日光街道ではなくバイパス道路で、旧日光街道は黄色い幹線より1本駅寄りの道路（図9の赤い矢印の道路）であることが分かる。

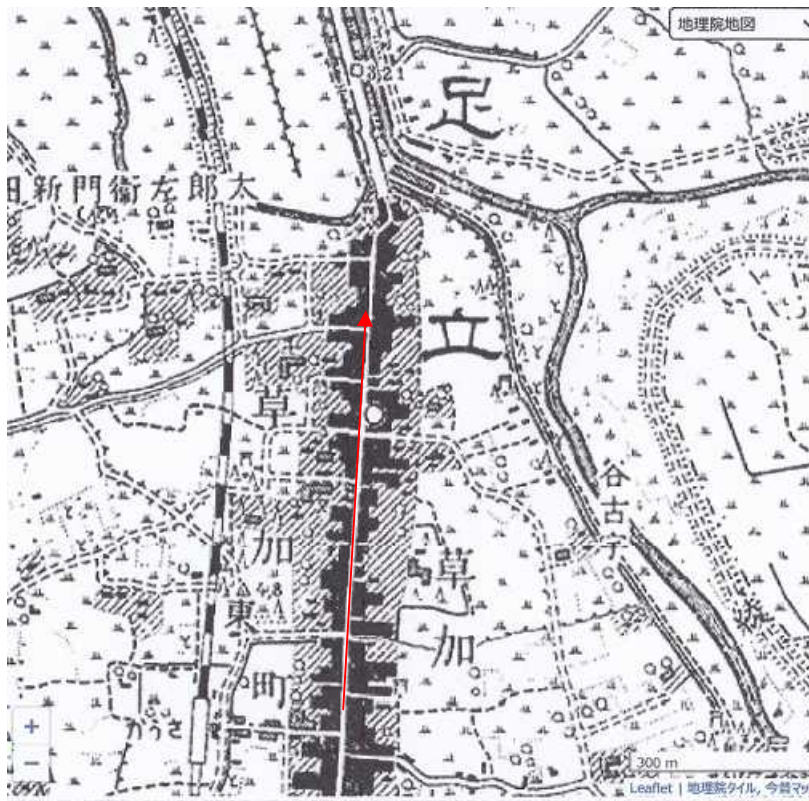


図9.
上：現在の草加市中央部の地図、
下：草加町の地図（1906年測量）。
赤い矢印は旧日光街道
①：草加駅東口
②：札場河岸公園（松尾芭蕉像）
③：おせん公園（河合曾良像）
本図は今昔マップより借用。

草加市の観光や芭蕉像と曾良像の紹介は、[8\) のサイト/1](#)や[9\) のサイト/2](#)が詳しい。なお、両像の動画は、[10\) のサイト/c](#)で視聴できます。これらの資料などにより、芭蕉像と曾良像の概要は次の通りである。

松尾芭蕉の像

場所：草加市札場河岸公園（図9上の②地点）

建立時期：1989年

建立者：市民団体「芭蕉像をつくる会」

制作者：麦倉 忠彦（1935 - ）は埼玉県草加市出身の彫刻家

設置経緯：元禄2年弥生27日（1689年5月16日）、草加に奥の細道への歩みを印した俳人・松尾芭蕉（1644-1694）の旅姿を表現している。本像は友人や門弟たちの残る江戸への名残を惜しむかのように見返りの姿で、奥の細道出立300周年を記念して建立。

河合曾良像の像

場所：草加市おせん公園（図9上の③地点）

建立時期：2008年

建立者：市民団体「河合曾良像をつくる会」

制作者：麦倉 忠彦（1935 - ）は埼玉県草加市出身の彫刻家

設置経緯：元禄2年弥生27日（1689年5月16日）、草加に奥の細道への歩みを印した俳人・河合曾良（1649-1710）の旅姿を表現している。本像は先を行く芭蕉を案じて、何かを呼びかけているようで、市制50周年を祝して建立。



図10. 草加駅東口の芭蕉像

私は11) のサイト/1で、草加市高砂 1-5 にも芭蕉像があることを知った。図 5 より、この住所は草加市役所の近所なので、本像も今回の銅像探索の対象とした。7 ページで書いたように、変なオジサンがアコちゃん像の傍にいたので、私は先にこの住所に行ってみた。しかし、この付近にはそれらしき銅像は見当たらなかった。私は仕方なく、駅前に帰って来ると、図 5 の③地点にそれらしき像があった。その写真を図 10 に示す。当地の住所は「高砂 1-5」ではなく、「高砂 2-5-7」であることが分かった(図 11 下を参照)。つまり、11) のサイト/1の住所表記が間違っていたことになる。

諦めていた本像を発見することができたので、地獄で仏に会ったような、安心した気分になった。本像は看板を持たされており、それには次のように書かれていた。

横断歩道で 気をつけよう あなたは家族の宝物 小学校五年生

本像の横にも立て看板があり、それには次のように書かれていた。

自転車の 乗り方守れば 事故もゼロ 小学校四年生



図 11. 上：本像の台座の銘文、
下：本像の住居表示。

本像の台座の写真を、図 11 上に示す。その銘文には次のように書かれていた。

結成 20 周年記念事業

草加中央ライオンズクラブは宣言します

速度違反・飲酒運転・違法駐車 しない、させない、守ります

台座には座主の名前は書いてなかったが、芭蕉であろう。建立の趣旨は「交通安全のため」であることが分かった。本像のお顔の部分を図 12 に示す。この写真より。「本像は本物のブロンズ製ではなく、銅像に似せた FRP 像である」ことが分かった。



図 12. 芭蕉像のお顔の部分

本像の台座の銘文によれば、本像の建立者は草加中央ライオンズクラブである。本クラブはアコちゃん像も建立している。一方、おせんさんの像は草加ライオンズクラブが建立している。[12\) のサイト/o](#)によれば、草加ライオンズクラブの結成は 1968 年 6 月 13 日で、草加中央ライオンズクラブの結成は 1981 年 9 月のようだ。以上の資料などにより、この芭蕉像の概要は次の通りである。

松尾芭蕉像

場所：草加市草加駅前東口アコス広場の南側（草加市高砂 2-5-7、）

建立時期：草加中央ライオンズクラブ結成 20 周年記念事業

制作者：不明

設置経緯：草加中央ライオンズクラブは 1981 年に結成。本像台座の銘文には「草加中央ライオンズクラブは宣言します 速度違反・飲酒運転・違法駐車 しない、させない、守ります」と書かれている。

参考資料

- 1) のサイト : <https://douzou.guidebook.jp/>
- 2) のサイト : https://www.mapion.co.jp/phonebook/M51013/11107/119892255_ipcbl/
- 3) のサイト : <https://urasen.jp/about/president/>
- 4) のサイト : <http://as.chizumaru.com/famima/detailMap?account=famima&bid=18823>
- 5) のサイト : <http://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1410/010/030/020/010/03.html>
- 6) のサイト : <http://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1403/010/010/020/01.html>
- 7) のサイト : <http://at-art.jp/japan/saitama-japan/soka/%E9%BA%A6%E5%80%89%E5%BF%A0%E5%BD%A6-%E3%82%A2%E3%82%B3%E3%82%B9%E3%81%AE%E3%82%A2%E3%82%B3%E3%81%A1%E3%82%83%E3%82%93/>
- 8) のサイト : <http://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1002/010/010/080/PAGE0000000000000058208.html>
- 9) のサイト : <https://blog.goo.ne.jp/12240106/e/494a016d83308fc560db09b7147d70a2>
- 10) のサイト : <https://www.youtube.com/watch?v=BLfbaicpShc>
- 11) のサイト : <http://takay36.blog.jp/archives/5663515.html>
- 12) のサイト : https://www.sokalionclub.com/index.php?club_info